

3 実績報告

(1) 対象世帯の募集および選定等

3村や当該地域関係者等とも連携の上、本事業に参画する3村内の対象世帯の募集を行いました。

各村においては、自治体広報誌等で事業の紹介、対象世帯の募集を行うなど、村内全域にかかる募集活動を行うとともに、重点的に事業を実施することを想定した区域を定め、当該地域では集中的に募集活動を行いました。

※参考 自治体広報誌



高齢者等みまもり支援事業の参加希望者を募集します

大宜味村・国領村・栗村の3村と、株式会社おきでんCplusC（代表取締役社長：仲野 浩）は、IT技術を活用した高齢者等みまもり体制の構築に向けて協定を締結し、9月30日、通の駅おきみやんばるの福祉センターで共同記者発表を行いました。

今回のみまもりでは、カメラやマイクは使わず、最先端のITテクノロジーである「Wi-Fiセンシング技術+AI」を活用し、「みまもりセンサー」等を自宅に設置することで、自宅にいる高齢者等の毎日の活動状況や離席の旨などを察知することで家族がスマホやタブレットなどで把握することができます。インターネット環境がない家庭には、モバイルルーターも提供します。詳しい事業内容等については、下記までお問い合わせください。

【お問い合わせ先】株式会社おきでんCplusC ☎0120-425-065（平日：9:00～17:00）
大宜味村地域包括支援センター ☎0980-44-301

おきでんCplusCやさしいみまもり無料体験参加者募集

カメラやマイクを使わず、隠れて暮らすお父さんお母さんへ「やさしくみまもる」。

おきでんCplusCが中継機約12名向けに実証試験を行っています。無料体験申込者募集期間が終了となりました。この機会にぜひ試してみませんか？

対象 大宜味村・国領村・栗村・名護市・宜野座村・沖縄市・宜野湾市・浦添市・新城市・豊見城市・高城市・八重瀬町在住の65歳以上の方

期間 2023年2月まで

申込方法 対象者ご家庭にてお申込みください。（QRコードから申込できます。）

【お問い合わせ先】株式会社おきでんCplusC ☎0120-425-065（平日：9:00～17:00）
大宜味村住民福祉課 ☎0980-44-3003

◎広報大宜味




重点区域の選定にあたっては、沖縄県や3村とも協議の上で候補地域を選定し、当該地域の自治会長に対する訪問・事業の説明を行った上で、各自治会協力のもと、区域内で人が集まる行事の前後を活用するなどして、説明会を開催いたしました。

具体的には、国頭村では与那区を、大宜味村では喜如嘉区を、東村では川田区をそれぞれ重点区域として選定することとし、それぞれ区長に対し説明、了解を得ました。（国頭村与那区は7月26日、大宜味村喜如嘉区は8月8日、東村川田区は7月29日に各区長より大枠の同意をいただきました。）

図表9 地域関係者一覧

3村・地区関係者との連携状況について

2022年6月24日補助事業採択後、村役場・地区関係者との協議を経て「やさしみまもり」体制の基礎づくりを進捗しました。(敬称略)

 国頭村	 大宜味村	 東村
村役場 福祉課 課長 福祉課 課長補佐 福祉課 係長	村役場 福祉課 課長 福祉課 福祉係長	村役場 福祉保健課 課長 福祉保健課 主査
与那区 区長	喜如嘉区 区長	川田区 区長
包括支援センター 社会福祉士	包括支援センター 主事	包括支援センター 社会福祉士
社会福祉協議会 主事 生活支援コーディネーター	社会福祉協議会	社会福祉協議会 事務局長
民生委員	民生委員	民生委員

図表 10 説明会開催実績

NO	日付	市町村	参加者	人数	場所
1	10月5日	国頭村	各区長	18	国頭村役場
2	10月18日	大宜味村	高齢者	7	喜如嘉公民館
3	10月24日	国頭村	高齢者	3	与那公民館
4	11月1日	大宜味村	各区長	16	大宜味村役場
5	11月2日	国頭村	高齢者	5	与那公民館
6	11月14日	国頭村	高齢者	13	辺野喜公民館
7	11月16日	国頭村	高齢者	11	伊地公民館
8	11月17日	国頭村	高齢者	5	辺戸公民館
9	11月22日	国頭村	高齢者	16	辺士名公民館
10	11月24日	国頭村	高齢者・家族	8	与那公民館
11	11月24日	国頭村	高齢者	8	佐手公民館
12	11月25日	国頭村	高齢者	6	宜名真公民館
13	11月26日	大宜味村	高齢者・家族	4	農村活性化センター
14	11月26日	国頭村	高齢者・家族	5	道の駅ゆいゆい国頭
15	11月30日	大宜味村	高齢者	12	喜如嘉公民館
16	11月30日	国頭村	高齢者	8	安波公民館
17	12月9日	国頭村	高齢者	10	与那公民館
18	1月7日	東村	高齢者	1	川田公民館
19	1月11日	東村	高齢者	0	川田公民館
20	1月12日	国頭村	高齢者	0	与那公民館
21	1月12日	大宜味村	高齢者・家族	3	喜如嘉公民館
22	1月14日	大宜味村	高齢者・家族	1	喜如嘉公民館
23	1月14日	国頭村	高齢者	0	与那公民館
24	1月18日	東村	高齢者	1	川田公民館
25	1月24日	東村	高齢者	15	川田公民館
26	2月6日	国頭村	高齢者・家族	15	与那公民館（集落会）
合計				191	

※参考 説明会の様子

10/18 喜如嘉公民館



11/2 与那公民館



11/26 道の駅説明会



募集活動としては、自治体広報誌での事業概要の紹介や参加者募集活動、SNS での情報発信（おきでん CplusC の事業について発信したのも含みます）、村役場や公民館、共同売店へのチラシの設置・配布、地域の関係者や地域住民向けの説明会の開催、地域イベントへのスタッフの参加を通じた周知活動、その他個別の問い合わせ対応等を行いました。

2023 年 1 月末時点での各村での取組状況は以下のとおりです。

	単位	国頭村	大宜味村	東村
自治体広報	回	2	3	1
SNS 広告（自社含む）	回	20	20	16
チラシ設置・配布	枚	40	60	35
説明会 開催回数	回	10	0	7
説明会 のべ参加人数	人	64	48	18
地域イベントへの参加	回	1	3	2
村・関係者への個別対応	回	51	63	23
地域住民への個別対応	回	80	50	10

こうした活動の結果、事業への参加申込・実施世帯数は目標の 50 世帯に到達しています。50 世帯の主な属性の内訳は以下のとおりです。

- ・性別は女性 22 名、男性 28 名となりました。
- ・居住村は、国頭村が 11 世帯、大宜味村が 19 名、東村が 20 名となりました。東村においては、自治会による積極的な事業参加・募集活動へのご協力が得られたことから、各村の単身高齢者世帯数に比して多くの事業参加者を募ることができました。
- ・年齢構成（※2022 年 12 月末日の年齢で算出）は、69 歳以下が 9 名、70 歳代が 13 名、80 歳代が 15 名、90 歳以上が 13 名となりました。各年齢層に幅広く参加者が分布する形となりましたが、各世代の人口を考えると、高齢層ほどみまもり事業のニーズが高い結果となりました。
- ・世帯構成は、一人暮らしが 40 世帯、夫婦での同居世帯が 5 世帯、子どもとの同居世帯が 4 世帯、親との同居世帯が 1 世帯となっており、当初の計画通り、単身高齢者世帯を中心とした構成となっています。
- ・各参加者の健康状態については、7 名が要介護認定者、6 名が要支援認定者であると回答いただきました。残り 37 名のうち、6 名はアンケートにて健康上の不安がある旨を回答しており、その他 31 名は「とても元気だ」と回答しています。現時点で健康不安等が顕在化していなくても、みまもり事業のニーズが存在していることがうかがえます。

(2) 対象世帯への「みまもりキット」の設置

募集した対象世帯には、居宅内での活動状況等を把握できるよう、弊社サービスの「みまもりキット」を設置いたしました。

「みまもりキット」は、以下の機器で構成されています。

- a) みまもりセンサー…居宅内における人の活動および就寝時の呼吸情報を検知することで、居住者の生活情報を把握するためのセンサーです。現在商用として販売されている Origin-Wireless 社の Lyra Care を使用しました。
- b) タブレット端末…対象世帯内で端末本体としてのタブレット端末および付属品のカバーです。高齢者がタブレット端末を使い慣れないことを懸念する方もいる中、親しみやすいデザインで、かつ持ちやすいものを選定しました。また、使用中の破損を懸念される方もいらっしやることから、耐ショック性の高いカバーを選定しました。
- c) L T E ルーター…対象世帯でのインターネット Wi-Fi 環境の構築のためのルーターです。

図表 11 みまもりキット一式イメージ図

「みまもりキット」をご提供します。

- 世界最先端のWi-Fiセンシング技術装備みまもりセンサー
- 高齢者がみずから生活行動表示を確認できるタブレット
- インターネット環境がない家庭でも安心のモバイルルーター



いつまでも元気で
笑顔に満ちた沖縄に

離れて暮らす大切なひとのことを
を不安に感じることがなくなり、
みまもられるひとを安心して暮ら
すことができるようになります。
いつまでも元気で笑顔が続く沖
縄にお役立ちします。

みまもりセンサー



家にかんたん設置、
置くだけ。

手のひらサイズの「みまもりセン
サー」を家の大きさに合わせて3
つ以上、ボンとおうちに置くだけ。
コンセントにつなげば、あっとい
う間に新しい「みまもり」が結ま
ります。



煩わしさがなく、
プライバシーに配慮。

カメラやマイクを使わないため、
プライバシーに配慮。身体に接触
する機器など一切不要で煩わし
さもありません。世界初の安心み
まもりを実現する最先端テクノロ
ジーです。

みまもりタブレット



いつでもどこでも
通知を確認。

24時間・365日活動・睡眠の
検知状況をわかりやすくグラフ
で確認。クッション性の高い
ケースに入っており、どこにでも
持ち歩くことが可能です。



モバイルルーター

インターネット未接続の
ご家庭も安心。

インターネットやWi-Fiが接続さ
れていない65歳以上世帯も
多いことから、本家庭試験で
はインターネット端末も「みま
もりキット」に含めてご提供します。

※参考 みまもりキット設置の様子



図表 12 高齢者等みまもり支援イメージ図

高齢者等みまもり支援：かんたん、3ステップ^o

かんたん&スピーディ。沖縄電力グループが提供するキット・機器設置で、北部過疎地域に〈結〉が繋がります。



設置に関しては、弊社での設置を希望された世帯には、弊社スタッフが居宅に訪問し、機器設置を行った上で、機器の操作説明も併せて実施しました。特に80歳以上の高齢の方になると、タブレット端末の操作に不安を感じられる方も多くなることがわかっておりますので、機器設置工事の際に、弊社スタッフから実機を使った操作説明等を行い、利用者の方が安心して利用できるよう対応しました。

また、電波状況等によりうまく活動状況が検知できない場合に、機器の配置を調整することで改善が図られる場合があります。弊社スタッフが設置作業を行った世帯については、こうしたご相談に対してスムーズに対応ができるよう、工事実施時に設置状況等につ

いて施行実施書を作成し、弊社担当者内で共有しました。また、新型コロナウイルス感染症対策として、自身またはご家族みずからの設置を希望された世帯に対しては、「みまもりキット」およびその設置マニュアルを送付し、非対面にてみまもりキットの設置を行えるようにしました。

対象世帯全体では、弊社スタッフによる設置が48件（外注46件、直営2件）、ご自身またはご家族による設置が2件となりました。

（3）みまもり支援体制の構築及び運用

上述のみまもりキットの設置により、カメラやマイク、体に装着する機器を使わずに、プライバシーに充分配慮した形で「居宅内の活動状況」及び「睡眠状況」の検知を行い、参加者本人はタブレットの確認画面において、検知した睡眠時間・活動時間が日毎に確認いただけるようにしました。また、参加者のご家族に対しては、LINEを用いて共有できるようにしました。

図表 13 LINE での家族通知画面



なお、設置後は、機器がうまく作動していない、タブレットの使い方が分かりづらい等のお問合せに対して、電話やメールにて対応を行い、必要がある場合には居宅に訪問し、機器の設置状況等の確認を行いました。

みまもり支援体制の構築については、参加者の検知内容に異変（長期間活動が確認できないなど）が生じた際に、初動対応をどのように行うかの議論・確認を行いました。具体的には、対象者のご家族や地区の関係者（区長・共同売店等）、自治体に順次連絡を行うことで、自助・共助・公助の順に優先順位を持たせて通知を行う仕組みの有用性について確認しました。

図表 14 異変（長期間活動が確認できないなど）時や、「黒信号」（孤独死放置への対応）の考え方

「黒信号」（孤独死放置への対応）の考え方

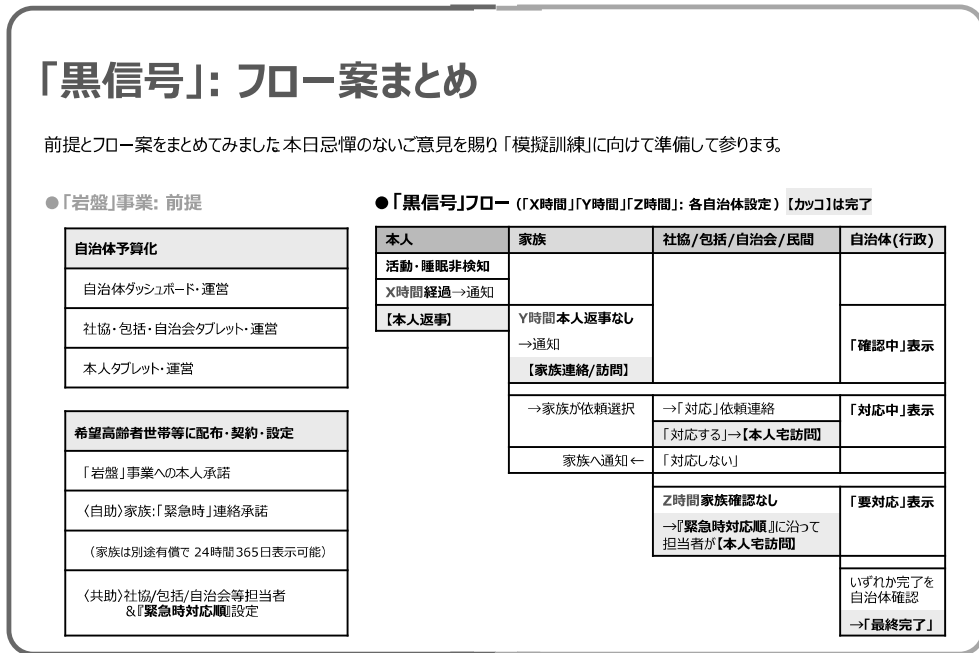
下記のような**基本方針・考え方**に基づき、各関係者向けUXのモック/プロトタイプを開発中です。
 本日の議論にて皆様のご意見を賜り改善の上で、**実際の運用テスト＝「模擬訓練」**を実施できれば幸いです。

「X時間」= 自治体設定可能	<ul style="list-style-type: none"> ● 36時間など対象者一律に設定可能 ● 一部高齢者に別時間設定も可能 ● 自治体→社協/包括に設定委託可
最初に動くのは〈自助/家族〉	<ul style="list-style-type: none"> ● まずは本人・家族に連絡・確認 ● いきなり〈公助〉を動かさない ● 〈但し当初からアラート共有+ログ〉
〈家族〉の選択依頼で〈共助〉等活動	<ul style="list-style-type: none"> ● 家族が行けない場合の選択肢 = ①社協/包括、②自治会、③民間 ● 家族返事なし時の対応を事前確認
〈家族〉〈共助〉等訪問後、〈公助〉	<ul style="list-style-type: none"> ● 訪問後「緊急」確認→救急/警察 ● 訪問後「安全」確認→本件完了 ● 最終判断 = 自治体

© Okiden C plus C 2022 / Strictly Confidential

6

図表 15 「黒信号」：フロー案まとめ



(C) Okiden C plus C 2022 / Strictly Confidential

18

(4) 事業の効果を高めるための取組

本事業の取組においては、共同売店を中心とした既存コミュニティを活用することで、より効果的な地域のみまもり体制の構築が期待されます。地域コミュニティの活性化に向けて、以下の取組を行いました。

a. 「結あんしんスタッフ」の配置

共同売店の地域のコミュニティ拠点としての親しみやすさを向上させる観点で、共同売店にお困りごとを手伝う「結あんしんスタッフ」を配置しました。本事業では、試験的に大宜味村喜如嘉地区の共同売店にスタッフを配置しました（効果については、以降のアンケート調査の項目で詳報します）。

図表 16 「結あんしんスタッフ」チラシ

喜如斎の65歳以上の皆様へ!!

結あんしんスタッフによる暮らしのお手伝いがスタートします!

結あんしんスタッフの暮らしのお手伝いとは?
 年齢を重ねると、日常のちょっとしたお困りごとが、少しずつ増えてきます。結あんしんスタッフが、喜如斎の皆様の暮らしの「ちょっと困った!」というところをお手伝いします。

結あんしんスタッフは、こんなお手伝いをしています!

- 電球交換 [チケット1枚]
- ゴミ出し [チケット1枚]
- お買い物代行 [チケット2枚]
- お庭の掃除 [チケット2枚]
- お部屋の片付け [チケット2枚]
- 病院の付き添い [チケット2枚]

このチラシで20分500円×3枚のゆいまーるチケットを無料に!
ぜひこの機会にご活用ください!

暮らしのお手伝いを利用するには?

チケットに必要事項を記入の上共同売店に設置している申込ボックスにチケットを入れてください!

皆様の日常生活がより豊かに、楽しいものになるよう頑張ります!結あんしんスタッフは、共同売店や公民館にあります。ぜひ、お声がけください!

例えば...
 こんなお手伝いをさせていただきました!
 足腰痛ったまま、しばらくお留守でいた。
 組み立て式の収納ボックスを組み立ててお手伝いしました。
 「腰が楽になったと喜んでいただけました!」
 と褒められました。

ご利用せよ 090-8216-6551 (昼間:昼)

図表 17 「暮らしのお手伝いメニュー」イメージ

【ご参考】暮らしのお手伝いのメニュー（例）

結あんしんスタッフは、こんなお手伝いをしています!

- 電球交換
- ゴミ出し
- お買い物代行
- お庭の掃除
- お部屋の片付け
- 病院の付き添い

左記サービスはいずれも
20分500円～
 ※実際に要した時間でご請求

スタート記念で、500円分無料チラシを配布予定

結
 ゆいまーるチケット
 20分500円→無料
 YUIMA-RU TICKET

サービスの対応可否はお気軽にお問い合わせ下さい。

図表 18 結暮らしのお手伝い実施件数

	国頭村	大宜味村	東村
重点地域周り	2	10	7
その他の地域	2	4	0
小計（件数）	4	14	7
合計	25		

図表 19 結暮らしのお手伝い実施内容

No	日時	内容	地域
1	11月24日	カラーボックス組み立て	大宜味村
2	11月30日	スマホ利用方法お手伝い	大宜味村
3	12月20日	不用品処分	大宜味村
4	1月10日	多肉植物の植え替え	大宜味村
5	1月30日	農作業	大宜味村
6	1月30日	照明器具の清掃	東村
7	1月30日	タブレット操作説明	東村
8	2月1日	ハンガーラック取り付け	大宜味村
9	2月1日	タブレット操作説明	大宜味村
10	2月2日	タブレット操作 (Youtube)	東村
11	2月6日	カラーボックス購入組み立て、設置	大宜味村
12	2月6日	カラーボックス購入組み立て、設置	東村
13	2月8日	お部屋の掃除	国頭村
14	2月9日	庭の手入れ	東村
15	2月14日	喜如嘉公民館 棚の移動、書類整理	大宜味村
16	2月15日	喜如嘉共同売店 清掃	大宜味村
17	2月17日	タブレット操作	大宜味村
18	2月17日	農作業	大宜味村
19	2月17日	草取り	国頭村
20	2月17日	草取り	大宜味村
21	2月26日	農作業	大宜味村
22	2月27日	庭の手入れ	東村
23	2月27日	木製扉の移動	東村
24	2月28日	庭の手入れ	国頭村
25	2月28日	庭の手入れ	国頭村

※参考 暮らしのお手伝い実施の様子

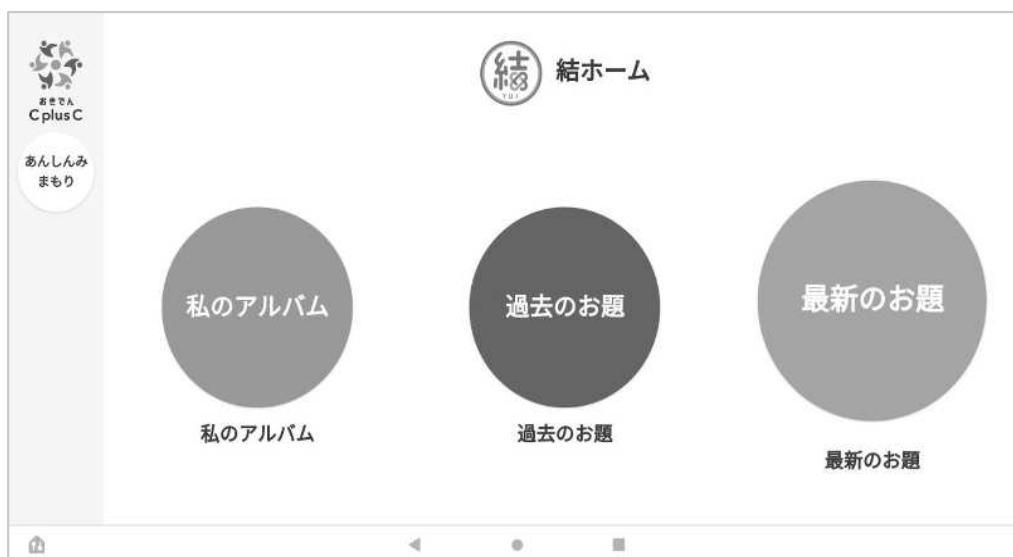


b. 「結コンテンツ」の配信

参加者が使用するタブレットに、共同売店や地域の情報が受け取れる「結コンテンツ」の運用を開始しました。同コンテンツは、画像や簡単なコメントにより、参加者が地域の情報を得られるプラットフォームとして運用しています。投稿の閲覧だけでなく、参加者自身も簡単な工程により投稿を行うことができます。

一例として、東村川田区共同売店にてお弁当入荷・販売の投稿をして、集客につなげる等の活用や、地域の活動（清掃、オオタニワタリ畑作り）を配信する等を実施しています。

図表 20 トップページ シニア向けにシンプルで見やすい設計



※参考 共同売店の商品を紹介する投稿を促すメッセージ



※参考 投稿イメージ1（東村川田区共同売店）



投稿イメージ2（一覧）



c. 共同売店におけるインターネット環境の整備

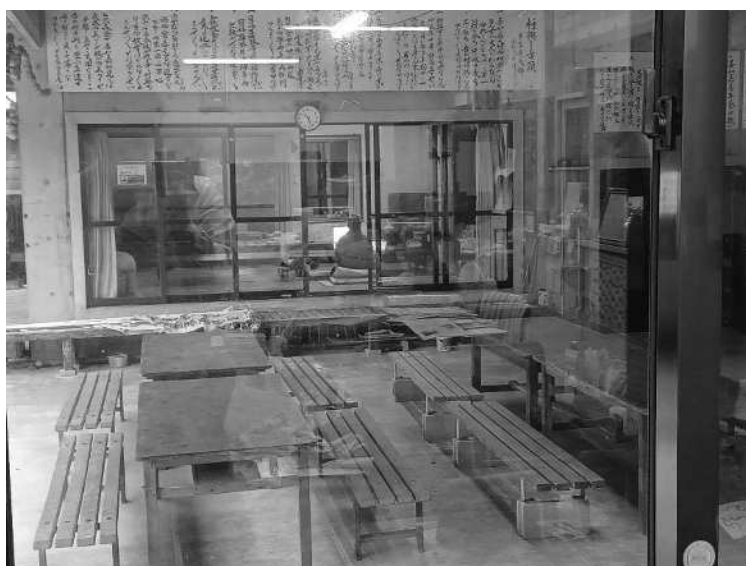
今般の高齢者みまもりのシステムを稼働させるためには、拠点となる共同売店や地域の公民館にもインターネット環境を用意する必要があったことから、整備を行いました。

整備したインターネット環境は、オンライン会議やリモートワーク、地域住民の憩いの場にも利用されるなど、地域コミュニティの活性化にも寄与しています。

※参考 公民館内リモート会議



近隣住民が公民館のWi-fiを使用している様子



(5) アンケート調査の実施

本事業の取組に関して、参加者・家族・地区関係者等の関係者に対してアンケート調査を実施し、効果を検証した。具体的なアンケートの内容については、事前に沖縄県と調整の上で実施しました。

a. 参加者に対するアンケート調査

本事業の参加世帯数が 50 世帯であることから、事業の実態の把握のためには、有効回答数を極力大きくすることが望ましいことを踏まえ、対面形式でのアンケート調査を実施しました。

図表 21 アンケート設問【参加住民の方】

令和5年2月実施

**令和4年度沖縄県離島・過疎地域づくりDX促進事業（高齢者等のみまもり支援事業）
アンケート調査【参加住民の方】**

このたびは、「高齢者等のみまもり支援事業」にご参加いただき、ありがとうございます。
参加中の体験についてお聞かせいただければ幸いです。
いただいたご意見は、今後の改善に生かして参ります。

Q1 参加を決めたポイントは何ですか？（該当項目全てに○をつけてください）

<input type="checkbox"/> 沖縄県・自治体への信頼	<input type="checkbox"/> 知人・友人からの推薦
<input type="checkbox"/> 沖縄電力グループへの信頼	<input type="checkbox"/> 自分の健康が不安だったから
<input type="checkbox"/> 区長・民生委員等からの推薦	<input type="checkbox"/> 地域の取組に参加したいから
<input type="checkbox"/> 家族からの推薦	<input type="checkbox"/> その他

Q2 期間中良かったこと・困ったことはありましたか？（該当項目全てに○をつけてください）

<input type="checkbox"/> みまもられていて安心	<input type="checkbox"/> 導入の手間が少ない
<input type="checkbox"/> 自分の生活がふり返れてよい	<input type="checkbox"/> 地域住民との関わりあいが増えた
<input type="checkbox"/> 家族と連絡が増えて嬉しい	<input type="checkbox"/> 端末の表示がわかりにくかった
<input type="checkbox"/> 共同売店・区等との コミュニケーションが増えた	<input type="checkbox"/> 端末の操作が上手くできなかった
	<input type="checkbox"/> 不安が増えた

例 睡眠・活動時間を確認することで
逆に不安になった 等

Q3 次年度も継続して利用したいですか？（該当項目に○をつけてください）

<input type="checkbox"/> 有料でも継続利用したい	<input type="checkbox"/> 検討中
<input type="checkbox"/> 無料なら継続利用したい	<input type="checkbox"/> 利用したくない

Q4 みまもりサービスを利用しての満足度を教えてください。

<input type="checkbox"/> 大変満足	<input type="checkbox"/> 満足
<input type="checkbox"/> 普通	<input type="checkbox"/> 不満

Q5 そのほか感じたこと・今後の改善点などあれば、自由に記入ください。

(表面から続きます)

Q6【大宜味村喜如嘉エリアの方】結あんしんスタッフについての感想を教えてください。
(該当項目全てに○をつけてください)

- | | |
|---------------------------------------|---|
| <input type="checkbox"/> 手伝ってもらって満足 | <input type="checkbox"/> 共同売店の活気につながる |
| <input type="checkbox"/> いつか利用してみたい | <input type="checkbox"/> 今後特に利用したいと思わない |
| <input type="checkbox"/> 何でも相談できそうで安心 | <input type="checkbox"/> 知らなかった |

Q7 最後にあなた自身について教えてください(該当項目に○をつけてください)

居住地 [国頭村 ・ 大宜味村 ・ 東村]

年代 [60歳代 ・ 70歳代 ・ 80歳代 ・ 90歳以上]

性別 [男 ・ 女]

お名前(任意) _____

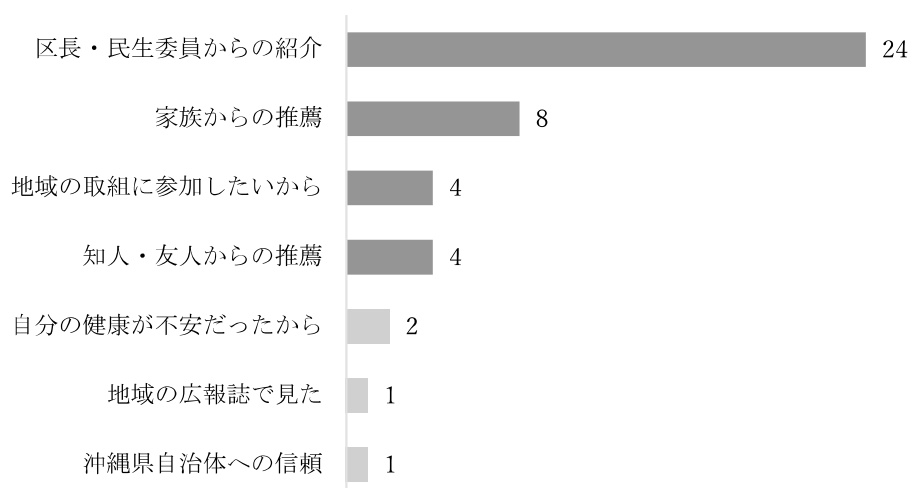
ご回答おつかれさまでした。
貴重なご意見をありがとうございました。

アンケート調査の主な結果については、以下の通りとなりました。（回答数：40件）

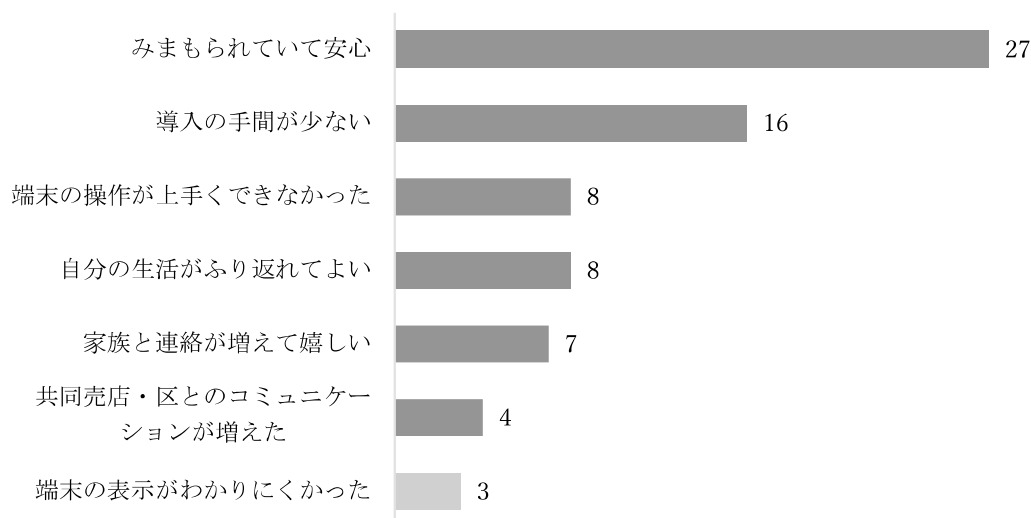
・参加を決めたポイントとしては、回答者の過半数が「区長・民生委員等からの推薦」と回答しました。重点区域の自治会等からの積極的な参画がいただけたこと、家族が離れて暮らすことが多い北部3村においては、地域からの推薦の重要性が高いことがうかがえます。

・期間中良かったこと・困ったこととして、回答者の過半数から「みまもられていて安心」との回答がありました。このほか、「導入の手間が少ない」「生活が振り返れた」「家族との連絡が増えた」など、弊社が提唱する「やさしいみまもり」が目指すことが実現されていたと考えられます。なお、端末の操作が上手くできなかったとの回答が一定数あることから、今後の改善対応が必要であると考えられます。

Q1 参加を決めたポイントは何ですか？



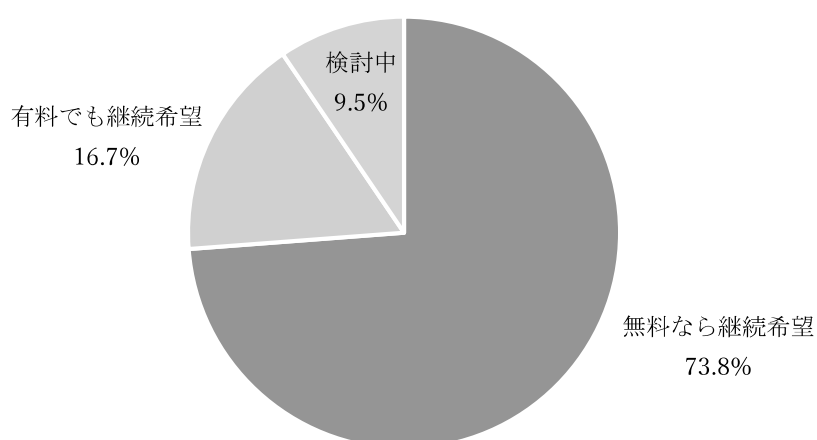
Q2 期間中良かったこと・困ったことはありましたか？



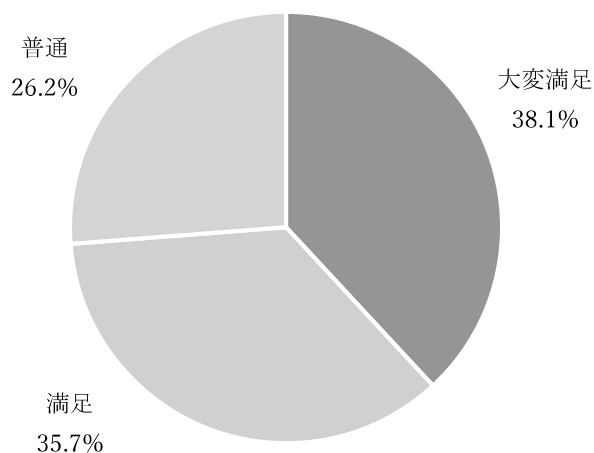
・次年度も継続して利用したいかとの質問に対しては、回答者の9割が継続を希望する回答となりました。全体の2割弱からは「有料でも継続希望」との回答をいただいております、本事業の取組の効果が十分にあったことがうかがえます。

・みまもりサービスの取組への満足度についての質問では、「大変満足」「満足」が7割強を占める結果となりました。「不満」と回答した方がいなかったことと併せて、前問同様、事業の取組の効果が十分にあったことがうかがえます。

Q3 次年度も継続して利用したいですか？

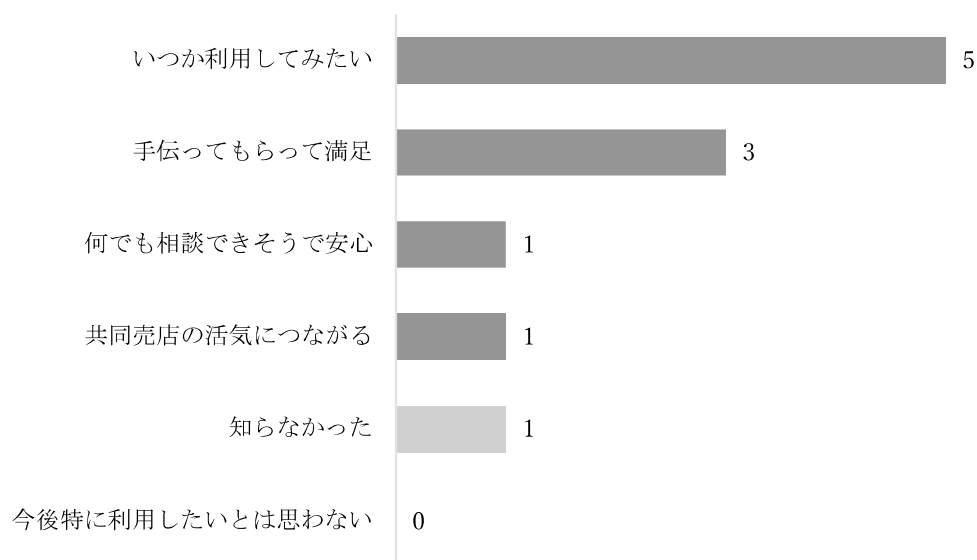


Q4 みまもりサービスの取組に対する満足度を教えてください



- ・その他、自由記載にて、「自分の体調が見られてよい。緊急時に知らせるものがあれば良い」「グラフがきれいにとれない時は不安だが、きれいにとれるようになると安心です」「家族が週一で来るけれど、それ以外でも連絡が密になった」などの声をいただいております。
- ・また、結あんしんスタッフを配置した大宜味村喜如嘉地区のみ、結あんしんスタッフへの感想を質問したところ、全員が「いつか利用してみたい」もしくは「手伝ってもらって満足」との回答結果となりました。「なんでも相談できて安心」「共同売店の活気につながる」の声もあり、「利用したくない」との意見は出ませんでした。取組に対する地域住民の期待や、コミュニティ活性化への寄与の期待を反映した結果となっています。

Q6 結あんしんスタッフについての感想を教えてください



b. 地域の関係者に対するアンケート調査

北部3村それぞれの自治体・区長・区関係者・社協・包括・民生委員・共同売店など、本事業に地域の関係者として参加いただいた方々に対してアンケート調査を行い、18件の回答を得ました。

図表 22 アンケート設問【地域の関係者様】

令和5年2月実施

**令和4年度沖縄県離島・過疎地域づくりDX促進事業（高齢者等のみまもり支援事業）
アンケート調査 【地域の関係者様】**

このたびは、「高齢者等のみまもり支援事業」への様々なご協力をありがとうございました。
2月末の県事業報告書作成に向けて、下記アンケート調査にご協力ください。
いただいたご意見は、今後の改善に生かして参ります。

Q1 今回の事業へのご協力の背景は何ですか？（該当項目全てに○をつけてください）

- 地域における高齢者とのコミュニケーションが薄れてきた
- 地域における急速な高齢化への不安
- 地域における単身高齢世帯の増加
- 地域で暮らす高齢者に対する不安
- 地域で暮らす高齢者の孤独死
- 高齢者みまもり等の業務負担増加
- 地域で暮らす高齢者・家族からの不安の声

Q2 地域における「高齢者みまもり」の現状を教えてください
（該当項目全てに○をつけてください）

- 良好にできている
- 高齢者対応において、必要な世帯をカバーできていない
- 「高齢者みまもり」に対する業務・人的負担が多い
- 「高齢者みまもり」を担う人的リソースが不足している
- 「高齢者みまもり」の負担が一部に集中している
- 「高齢者みまもり」取組の効率化が進んでいない
- 孤独死などへの対応が不十分
- 地域で暮らす高齢者・家族から問い合わせ・不安の声がある

Q3 期間中の状況について感想をお聞かせください（該当項目全てに○をつけてください）

<input type="checkbox"/> 事業運営は良好	<input type="checkbox"/> 導入の手間が少ない
<input type="checkbox"/> 高齢者から「安心した」の声	<input type="checkbox"/> 地域住民との関わりあいが増えた
<input type="checkbox"/> 家族から「安心した」の声	<input type="checkbox"/> 端末の表示がわかりにくかった
<input type="checkbox"/> 地域の高齢者とのコミュニケーションが増えた	<input type="checkbox"/> 端末の操作が上手くできなかった
	<input type="checkbox"/> 不安が増えた

例 睡眠・活動時間を確認することで
逆に不安になった 等

（裏面に続きます）

(表面から続きます)

Q4 来年度以降の高齢者みまりにどう取り組んでいきたいと思いませんか。

(該当項目全てに○をつけてください)

- | | |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> 設置数を増やしたい | <input type="checkbox"/> 社協/包括の関わりを増やしてほしい |
| <input type="checkbox"/> 現状規模の設置数で継続したい | <input type="checkbox"/> 高齢者とのつながり(結)
(みまもり活動にかかわらず、
コミュニケーションの増加) |
| <input type="checkbox"/> 地域の「安心」を高めたい | <input type="checkbox"/> 地区関係者の連携強化を図る
(情報共有の仕組みによるDX化等) |
| <input type="checkbox"/> 自治体の関わりを増やしてほしい | <input type="checkbox"/> 住民の高齢者福祉への意識醸成 |
| <input type="checkbox"/> 区/共同売店の関わりを増やしてほしい | <input type="checkbox"/> 他の地域にも同取組を紹介したい |

Q5 みまもりサービスの取り組みに対する満足度を教えてください。

- | | |
|-------------------------------|-----------------------------|
| <input type="checkbox"/> 大変満足 | <input type="checkbox"/> 満足 |
| <input type="checkbox"/> 普通 | <input type="checkbox"/> 不満 |

Q6 そのほか感じたこと・改善点などあれば、自由に記入ください。

Q7 最後にご回答者について教えてください(該当項目に○をつけてください)

村名 [国頭村 ・ 大宜味村 ・ 東村]

ご所属 [自治体 ・ 区/共同売店 ・ 社協/包括 ・ その他]

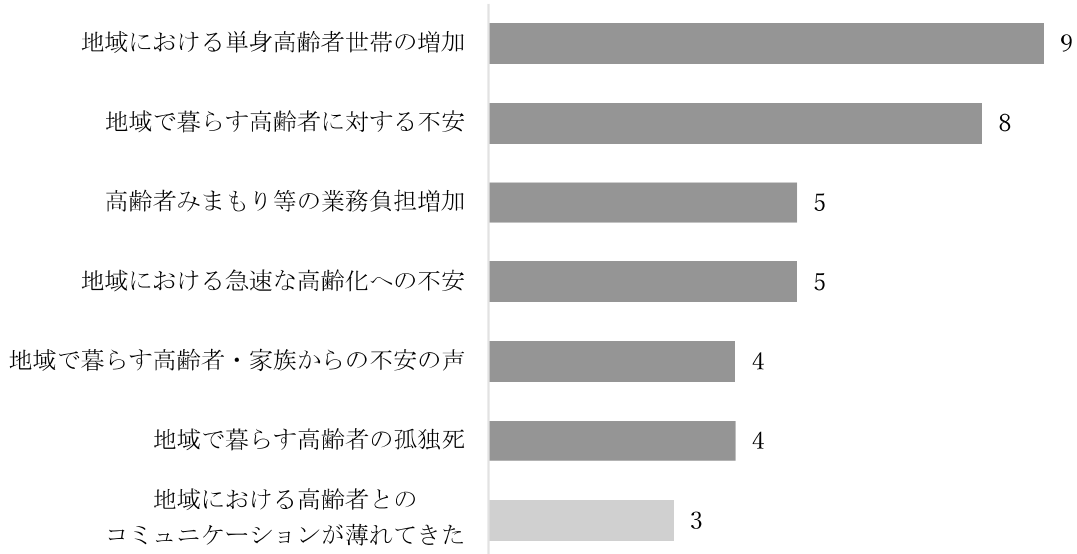
ご担当者名

ご回答おつかれさまでした。
貴重なご意見をありがとうございました。

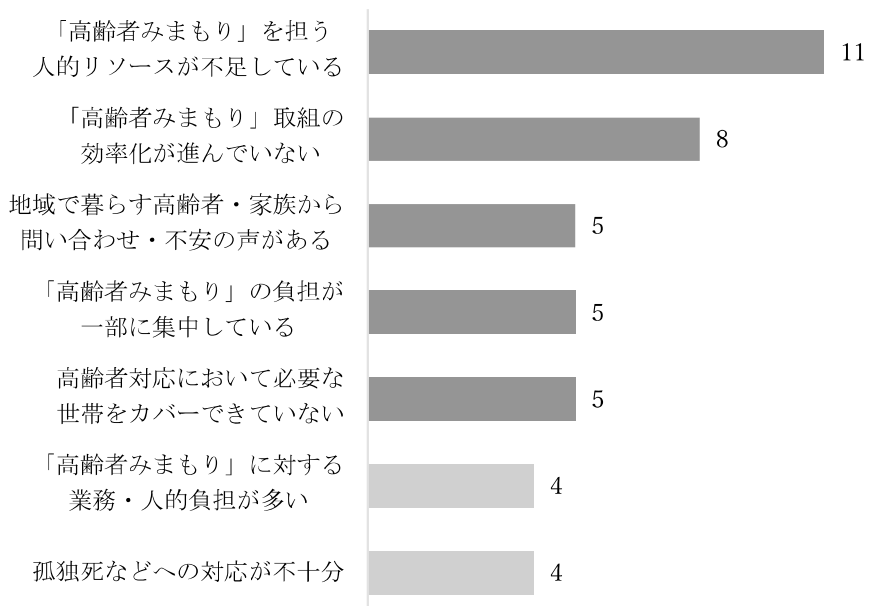
アンケート調査の主な結果については、以下の通りとなりました。

- 当事業への協力の背景については、「単身高齢者世帯の増加」「地域で暮らす高齢者に対する不安」と回答する方が多く、こうした点に対して地域の関係者が不安を感じていることがわかる結果となりました。次いで「高齢化への不安」「業務負担増加」「孤独死」「地域住民からの不安の声」との回答も、一定数みられました。
- 地域における高齢者みまもりの現状については、「人的リソース不足」と回答した方が全体の6割強と最大となりました。これに関連して、「取組の効率化」の必要性を求める意見も多く見られ、現状のみまもり活動の手法を続ける場合には、人的リソースに大きな懸念を感じている関係者が多いことが明らかとなりました。このほか、「必要世帯をカバーできていない」「負担の一部集中」などの項目にも、一定数の回答がありました。

Q1 今回の事業へのご協力の背景は何ですか？



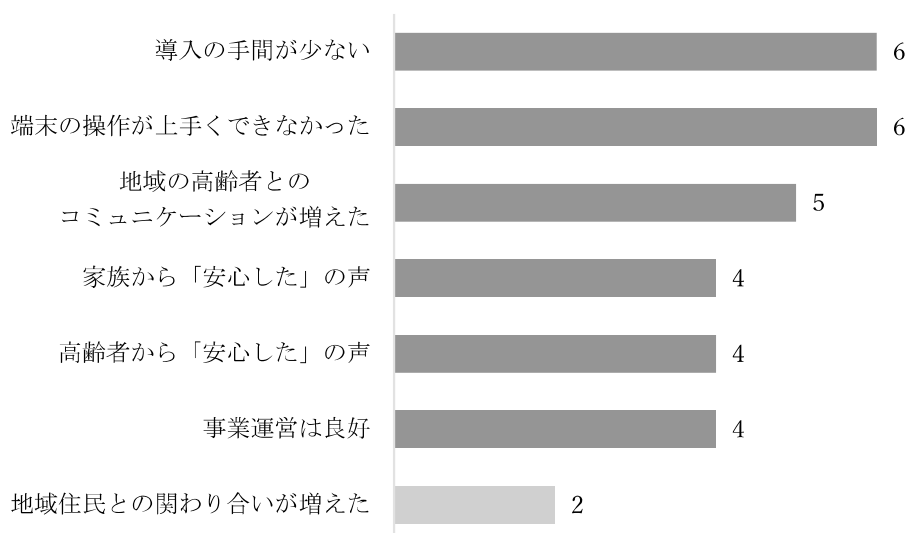
Q2 地域における「高齢者みまもり」の現状を教えてください



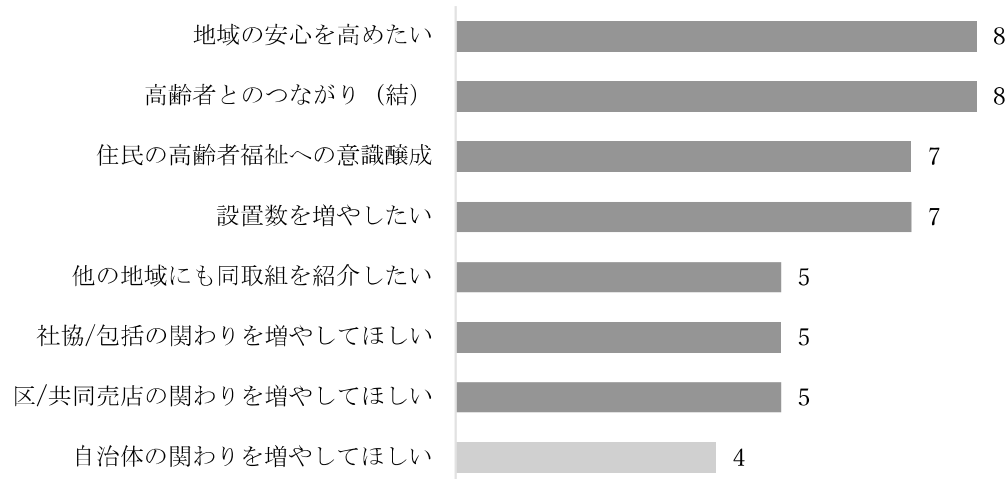
・期間中の状況については、「導入の手間が少ない」「地域の高齢者とのコミュニケーションが増えた」「高齢者や家族から安心したの声」との回答が多く見られました。導入の手間や高齢者・家族の安心は参加者の回答とも合致する点と言えます。また、本事業の取組を通じて関係者と地域高齢者等とのコミュニケーションが増えている点も、本事業の成果の一つと言えます。他方で、「端末の操作が上手くできなかった」との回答も多く見られており、みまもる側の操作性についても、今後の改善対応が必要と考えられます。

・来年度以降の高齢者みまもり活動の方向性については、「地域の安心を高めたい」「高齢者とのつながり（結）」「意識醸成」「区/共同売店/社協/包括の関わりを増やしてほしい」などの回答が多く、地域が一体となって取り組んでいきたいという思いが各関係者から示された結果となりました。

Q3 期間中の状況についてお聞かせください



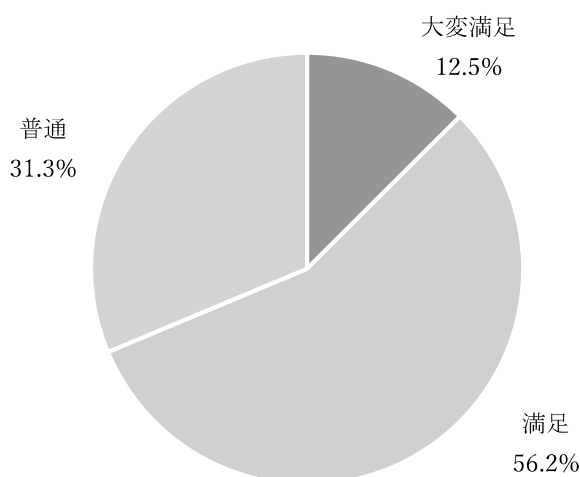
Q4 来年度以降の高齢者みまもりにどう取り組んでいきたいと思いませんか



・本事業のみまもりサービスに対する満足度については、「大変満足」が回答者の1割、「満足」が5割、あわせて満足度7割弱となりました。「不満」と回答した方は、参加者へのアンケートと同様、みられませんでした。

その他、自由記載にて、「ツールや仕組みを整備していくことも大事ですが、それをどのように村民と共有しているかが重要かなと思いました。」「他の地域の見守り体制が気になる」など、村民や他の地域との情報共有について関心の声をいただいております。また、「緊急対応にコールセンター設置や警備会社との連携等緊急対策の仕組みの提案をしてほしい。」「緊急時の対応について、第1報は家族となっているが、遠方にいる家族が迅速に対応できるとは考えにくい。」など、緊急時対応への関心の声もいただきました。

Q5 みまもりサービスの取組に対する満足度を教えてください



(6) 関係機関等との取組状況に関する連絡会議の実施

県、3村、地区関係者等を交えて取組状況等を共有する連絡会議を、事業開始時および事業実施において状況を共有・議論の必要がある際に開催しました（全4回開催）。

実施連絡会議は、県・全3村（各村の地区関係者はオブザーバー）各村の取組状況を共有し、優良活用事例等の横展開を図る全体会議と、県・個別の村・当該村の地区関係者で構成され、個別のエリアでの取組状況の報告、地域ごとの実態に応じた対応を協議する個別村会議の2部構成として運用しました。

図表 23 連絡会議について

本事業概要と〈連絡会議〉について

沖縄県「令和4年度離島・過疎地域づくりDX促進事業(高齢者等の見まもり支援事業)」事業実施要領

事業 実施概要

1. 国頭村、大宜味村、東村（「3村」）を対象地域として事業を実施
2. 村役場、社会福祉協議会、各地域の自治会等と連携し、高齢者等の《みまもり体制の構築》につながる取り組みを実施する。

事業 実施骨子

1. 3村や地域関係者等とも連携し、本事業に参画する独居高齢者等の募集を行います。
2. デジタル技術を生かした「みまもりセンサー」を活用し、データを収集・活用します。
3. 《みまもり支援体制》を構築・運用します。
4. 県・3村・地区関係者等を交えて、取組状況等を共有する〈連絡会議〉を開催します。
5. 対象者・家族・地区関係者等にアンケート調査を実施し、効果を検証します。

※参考 連絡会議の様子



1/26 第3回連絡会議（東村）



1/26 第3回連絡会議（国頭村）



1/27 第3回連絡会議（大宜味村）



(7) データ活用プラットフォームとの連携

本事業で蓄積されるデータについて、データ提供の方法等について確認の上で、プライバシー等に配慮した上で、県において基盤構築を進めているデータ活用プラットフォームの基盤整備を進めている沖縄県に提供する準備を行いました。

4. 事業の成果

(1) 概要

3村の高齢者単身世帯を中心とする計50世帯にみまもりキットを設置し、居住者の在宅時の活動状況をご家族・地域のみまもり関係者が把握できるようになりました。参加者・地域の関係者アンケートでも約7割が満足以上の評価をするなど、地域のみまもり体制構築に寄与しており、本事業のKPI（ICT等を利用したみまもりを実施する世帯数KPI：50世帯以上。サービス利用の満足度KPI：60%以上。）を達成しました。

このほか、地域の既存コミュニティである共同売店を活用する施策の展開等を併せて実施することで、地域のみまもり体制の一層の強化に寄与しました。

(2) 詳細

自治体広報誌での事業概要の紹介や参加者募集活動、SNSでの情報発信、村役場や公民館、共同売店へのチラシの設置・配布、地域の関係者や地域住民向けの説明会の開催、地域イベントへのスタッフの参加を通じた周知活動、その他個別の問い合わせ対応等を行い、ICT等を利用したみまもりを実施する世帯数KPI：50世帯以上を達成しました。

実施したアンケート調査によると、みまもりサービスの取組への満足度についての質問では、「大変満足」「満足」が7割強を占める結果となっており、サービス利用の満足度KPI：60%以上を達成しています。「不満」と回答した方がいなかったことと併せて、事業の取組の効果が十分にあったことがうかがえます。

地域の関係者からは、「導入の手間が少ない」「地域の高齢者とのコミュニケーションが増えた」「高齢者や家族から安心したの声」との回答が多く見られました。また、本事業の取組を通じて関係者と地域高齢者等とのコミュニケーションが増えている点も、本事業の成果の一つと言えます。本事業のみまもりサービスに対する満足度については、「大変満足」が回答者の1割、「満足」が5割、あわせて満足度7割弱となり、サービス利用の満足度KPI：60%以上を達成しています。なお、「不満」と回答した方は、参加者へのアンケートと同様、みられませんでした。

以 上

